



ROTARY INTERNATIONAL

ロータリーを
楽しもう!



Governor's Monthly Letter

ENJOY ROTARY!

RI会長 ヒュー・M. アーチャー
RI理事 千 宗室

DISTRICT 276 国際ロータリー第276地区
Governor KAZUAKI MORITA ガバナー 盛田 和 昭

1-19-30, NISHIKI, NAKAKU 〒460 名古屋市中区錦1-19-30
NAGOYA, JAPAN PC 460 名古屋観光ホテル 527号室
TEL 052-221-1877 TEL 052-221-1877
FAX 052-221-1885 FAX 052-221-1885

ロータリー 二つの飛躍

国際ロータリー第276地区ガバナー 盛田和昭



1905年創立以来、ロータリーは幾つかの基本原則を忠実に守って参りました。

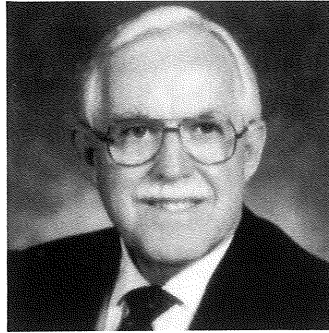
その内の職業分類に対する考え方、テリトリーに対する考え方は、最近の拡大方針に従って随分弾力的に運用される様になっては参りましたが今尚ロータリーの大きな特徴です。しかし今迄かたくなに守り続けられてきた会員資格、即ち成人男子なる言葉が消えて遂に女性に解放されたことは正に創立以来の大改革であり、時代

の流れとは申せ大きな飛躍と言っても良いのではないのでしょうか。既に日本のクラブにも10名以上の女性会員がある様です。残念乍ら当地区にはまだありませんが時間の問題でしょう。

今一つの大きな飛躍は、ポーランド、ハンガリーの所謂東欧圏が民主化の波と共にロータリークラブを復活して我々を驚かせたのに続き、今回遂にソ連に史上初のロータリークラブが誕生致しました。ゴルバチョフが大統領に就任し新しい憲法のもとで新しいソ連が生まれたとは言え、これ程早くロータリークラブが出来るとは予想致しませんでした。数多くある奉仕団体の中で、ロータリーがトップを切ってソ連に誕生したことは大きな意義を持つものです。

私は従来、ロータリーはインターナショナルと言いながら西側国のみに限られている以上、真にインターナショナルとは言い難いと言って参りましたが、この問題が解決されたことは正に大きな飛躍であり成功であります。これ迄西側諸国の男子のみに限られてきたロータリーが、全世界のすべての成人に会員資格が出来たことは一挙に4倍の可能性を持つことになるからです。

ソ連のロータリー加入についてR.I.より速報が参りましたのでそのままお伝えします。



1990年3月25日に、ヒュー・アーチャー国際ロータリー会長は、ソビエト高官との2日間にわたる会談を終え、モスクワから帰国する際、歴史的な発表をしました。

国際ロータリーとソビエト政府が、ソ連に史上初の仮ロータリー・クラブを設立することに合意したというものです。

ロータリーは、ロシアに奉仕クラブを設立した世界最初の団体となります。アーチャー会長はこう語っています。「ソ連では、既にロータリーへの関心が高まっていました。私たちが心要としているのは、モスクワに最初のクラブを設立することに対する政府の承認でした」。

ロシアは、ロータリー・クラブを有する168番目のしかも最大の国となりました。キエフ、レニングラード、イルクーツク、エストニア共和国、ラトビア共和国にもロータリー・クラブ結成の気運が高まっています。

事業および専門職務に携わる25人のモスクワ市民が、この6ヵ月間、「モスクワ・ロータ

リー・クラブ」として規則正しく非公式の会合を開きながら、ソビエト政府と国際ロータリーの会談の行末を見守っていました。

アーチャー会長は、24日に、この人たちに仮ロータリー・クラブ設立に向けて準備を進めることができる旨、伝えました。そして、申請すれば、国際ロータリーとロータリー財団の支援を受け、人道的プログラムや教育的プログラムを実施できることも説明しました。

アーチャー会長に同行したのは、フィンランドのヘルシンキのロルクJ. クラリッヒ元R.I. 会長です。ヘルシンキ・ロータリー・クラブが、モスクワ・クラブのスポンサー・クラブになると考えられます。

仮クラブの会長は、Alexander Tarnavaski氏で、30代前半の法学博士です。他の会員の年齢層は30歳から50歳までです。

アーチャー会長によると、ロシア人が特に関心をもっているのは、加盟認証後、他国の学生がロータリーから奨学金を授与され、ロシアの大学で学ぶことができるという点です。

文庫通信 (第32号)

「昭和十五年度ロータリー日記」より (当時のロータリー手帳) 1940年

「ロータリアンの主義精神」 1頁

「日満ロータリー連合会・日満ロータリー各倶楽部(一覧)」 4頁

「東京水曜倶楽部會員名簿 (昭和22年7月1日現在)」 東京水曜倶楽部 1947年 19頁

「東京ロータリー倶楽部名簿 (昭和24年10月現在)」 東京ロータリー倶楽部 1949年 41頁

「インター・シティー・フォーラム序説」

宮脇 富 1957年 8頁

「年度の準備」 宮脇 富 1958年 6頁

「ロータリー・クラブ結成指針」 R.I. 37頁

「段階 (ロータリー・クラブ新入会員の選択、選挙、紹介、教育、及び同化に関する)」

R. I. 1959年 31頁

雑誌月間にちなんで

国際ロータリー第276地区ロータリーの友委員会 委員長 高橋義雄(一宮R.C.)



ご承知のように4月は雑誌月間です。型にはまった言い方になりますが、今月は、R.I.の公式雑誌であるロータリアン誌および地域雑誌であるロータリーの友の果たしている役割を強調する月であります。情報化社会が言われて久しい今、ロータリーの理念や方針、さまざまなロータリーに関する情報とあわせて、その知識普及のため定期的に会員に配布している雑誌の役割は、いよいよ大きいと申せましょう。

その雑誌への理解をいかに深めるか、言いかえるなら雑誌に親しみ、購読意欲を高めることがこの月間のキーワードでもあります。さいわいロータリーの友は、1・2年来、大いに「変革」をとげたと評判です。ひいき目かも知れませんが、内容の充実とカラーページの増大など、誌面の体裁いずれも向上がめざましいというわけです。

ロータリアンはR.I.の公式雑誌(ロータリアン誌またはレビスタ・ロータリア誌)を購読しない場合は、公式地域雑誌(日本の場合、ロータリーの友)を購読するよう義務づけら

れていることは、ご承知の通りです。そのロータリーの友は、世界20の公式地域雑誌のうちでも、至れりつくせりの申しぶんのない内容の雑誌でありましょう。そのタテ組み、ヨコ組みのページに見られるように、1冊で雑誌と機関紙の両機能をあわせもったユニークさは特筆されることです。また各種のロータリー情報のほかにエッセイあり、評論あり、座談会あり、文芸欄あり、とりわけ主要な部分を占めるクラブや会員からの投稿は万事万端、まことにバラエティーに富んでおり、「我等の雑誌」の印象を強めます。情報の宝庫として、ロータリーの友を通読することがロータリーの知識や見識を高めることはもちろん、活用法も広範であります。「卓話の泉」は文字どおり知識の泉であり、「私の好きな言葉」は人生訓・座右の銘として朝礼のときに引用し、「健康ひとくちメモ」で独自の健康法を編み出しているロータリアンがあると聞けば、こんなに役立つ記事が満載されているロータリーの友を読まぬ法はないというものです。

訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

3月16日 杉浦 信重 (岡崎R.C.)
3月21日 内藤 靖博 (豊田西R.C.)
3月22日 内山 照美 (豊橋南R.C.)
3月28日 山本 博明 (豊橋R.C.)

4月3日 尾立 鎮茂 (名古屋空港R.C.)
4月6日 佐藤彦九郎 (名古屋港R.C.)
4月11日 鈴木兼次郎 (一色R.C.)

タイ視察旅行を終って

国際ロータリー第276地区世界社会奉仕(小)委員会 委員長 安藤幸治(名古屋空港R.C.)



去る2月20日より24日迄4泊5日の旅程で地区内10クラブより14名が参加して、タイ国のチェンマイに先づ到着、翌朝からバスで約300キロの区間で、ウタラジット、デンチャイ、ランパン等の都市を巡り、当地区18クラブの代表として336地区内10ヶ所のロータリー奉仕現場を訪問、WCSを実施しました。

この旅行を通じて、タイ・ロータリアンの奉仕の熱意、援助を求める人々の多いこと等の確認と、国際親善、新たな相互理解の実を挙げ過去の旅行中最大の成果ありと自負出来る旅行でした。連日午前5時起床、夜遅くホテルに帰るという強行軍に拘らず、一行全く元気で全員の気が打ちつけて「エンジョイ・ロータリー」を実践、奉仕の中から友情が生まれ、親睦の中から奉仕が生まれる、という事を肌で体験して参りました。ここに反省会での参加者の生の声を記します。

井元啓太(地区国際奉仕委員会委員長)

盛田ガバナーからもWCSの重要性を説かれている。しかし、まだまだ誤解されているので一人でも多くの人に参加してもらい、又、報告して誤解を解きたい。私が再度地区WCS旅行に参加したと言う事は、やはり奉仕の中

に楽しさがあるからだと思う。これが「エンジョイ・ロータリー」の原点である。

杉浦三郎(半田R.C.)

タイのロータリアンの奉仕活動、そして我々に対する配慮には頭が下る。この活動の報告書を完成し、もっと沢山人々に知ってもらう事が大切。

安藤忠夫(東海R.C.)

単純な気持ちで参加致しましたが、現場をこの目で見て実感としてよく分った。今後も参加したい。



坂本 裕 (東海R.C.)

最初は気楽な旅と思ったが世界のロータリアンの集まりの雰囲気に接し感激。この事を他の会員にPRしたい。

小島洋一 (東海R.C.)

タイに来てロータリーの活動が良く理解出来た。日本の置かれた立場が分った。やはり参加しなければ分らない。

山田幸一 (名古屋港R.C.)

今後WCSのクラブ予算をはずむべきだ。参加する事に意義がある。会員にPRしたい。

高橋正衛 (豊橋南R.C.)

参加してみて、WCSとして、皆様にこんなにお世話になっているとは今まで知らなかった。この事を皆さんにPRしたい。



前田一志男 (名古屋港R.C.)

ロータリーは口から(理論から)ではなく、足から出るべきである。汗を流してからの親睦、これが「エンジョイ・ロータリー」の精神だ。

平松典保 (知多R.C.)

このような活動を沢山のロータリアンに報告PRしたい。

林 淳三 (名古屋千種R.C.)

WCSの在り方は何かをよく理解出来た。一人でも多くの人々に理解してもらう様、クラブで報告したい。

堀田正俊 (西春日井R.C.)

フィリピンは政治が悪いから、WCSは止めた方が良いと言う人がいるが、貧しい人を救うのに、国境もその国の政治云々もない。そういう人に一度参加して貰いたい。タイ旅行は、こんなに成果の上がったのは始めてである。



天野正英 (東尾張分区代理)

タイ国への国際奉仕に行く事により、ロータリーの奉仕の精神が理解出来た。この実態を皆さんに報告して、分区代理としての責任の一端を果したい。

片岡正明 (名古屋和合R.C.)

旅行中に日泰寺を紹介する事が出来た。チェンマイR.C.の例会でパストガバナー、スミンさんが日本とタイ国の関係を日泰寺を介して歴史的意義を表明された。日泰寺へいつか、タイ・ロータリーグループが来られる由。

安藤幸治

本旅行実行幹事として、参加者会員から「すばらしい旅行でした。次も参加したい。」という声を聞き、努力の甲斐があったと喜んでゐる。

(以上敬称略)

おめでとう 新ポールハリスフェロー

大村	文雄	(岡 崎)
後藤	正	(名古屋守山)
小嶋	洋一	(東 海)
杉山	正彦	(半 田 南)
田中	瑞穂	(名古屋東南)
伊藤	富義	(西 尾)
奥村	貞雄	(名古屋港)
水野	滝三	(尾 張 旭)
松原	いく子	(")
山田	穎彦	(名古屋南)

地区国際友好委員会の 報告とお願い

国際ロータリー第276地区国際友好(小)委員会
委員長 大竹和美(あまR.C.)



当委員会は、国際理解と親善のために地区内各クラブが海外クラブと姉妹提携、友好関係を進めておられます。その実情を把握して全クラブにその資料を提供し、又、色々とご相談にのる等、側面的な援助を任務と考え活動を行っております。

昨年度は全クラブに対しアンケート調査を行い、そのまとめを各クラブに3部ずつ配布しました。アンケート時、63クラブ中、提携、未提携が半々という結果が出ました。

更に提携31クラブの相手は41クラブで17クラブが台湾でした。

本年も分区単位で国際奉仕委員長会議が開催されましたが、その席で新らしい興味のある事例が多々発表されました。そこで、当委員会として、この際もう一度アンケートを行い、前の資料を修正し皆様にご認識頂くとう話し合い、全クラブにそのお願いをしております。まとめ次第、フレッシュ情報としてお届けしますので、国際友好のお役に立てて頂きますよう期待いたします。

国際ロータリー第276地区
(1989年～1990年度)

意義ある業績賞

名古屋名東ロータリークラブの
受賞決定

Granted by
Rotary International to
the Rotary Club of



NAGOYA MEITO, AICHI

in recognition of
meritorious service

Kazuko Morita
District Governor

Hugh M. Archer
President R.I.

〔業績〕

名古屋名東ロータリークラブ創立以来、毎年「青少年の健全育成」をテーマに掲げ

1. 名東区内小中学生徒と当クラブ会員がソフトボール野球試合を行い、その後野球用具一式その他を寄贈。(10年連続)
2. 名東区内の中学校を対象に、その時に応じた講演会、シンポジウムを開催した。(10年連続)
3. 時代の流れに伴い、学校側、PTA側の希望、反応も変化してきたため、クラブ創立10周年記念を機に「名東区小中学校連合音楽会」に協賛することにした。(本年度は第3回となる)

特に「名東区小中学校連合音楽会」については、予算的に大変な苦勞があったが会員の職業を生かした協力により乗り切ることが出来、又、多くの会員が身を粉にして尽したことが、多方面より非常に高い評価をいただいた素因である。

名古屋名東ロータリークラブ

会長 岡本纈二
幹事 北村正和
青少年活動委員会
委員長 横江住憲

国際ロータリー第276地区
米山奨学生名簿(平成2年度)

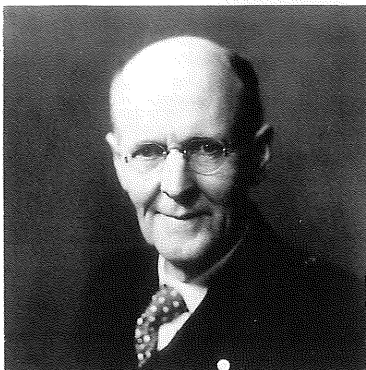
〈継続奨学生〉

	氏 名	国	大 学	世 話 ク ラ ブ
1	張 國 國 華	台 湾	名城大(法)	名 古 屋 千 種
2	李 弘 揆	韓 国	名大(地質工学)	名 古 屋 和 合
3	白 同 善	韓 国	名大(言語文化)	名 古 屋 中
4	鄭 明 埰	韓 国	豊技科大(情報)	豊 橋 南
5	レヴィン・ギョラ	イスラエル	名大(情報工学)	名 古 屋 北
6	張 淑 蘭	マレーシア	名城大(農)	豊 田
7	李 海 英	韓 国	名大(社会政策)	岡 崎
8	李 星 淑	韓 国	名大(農)	豊 山 城 北
9	シングラン・シンチア・デ・ゲズマン	フィリピン	名大(医)	名 古 屋 守 山

〈新奨学生〉

	氏 名	国	大 学	世 話 ク ラ ブ
10	スグリ・シャイラジャ	インド	名大(医)	豊 田 西
11	ヌール・アクタル	バングラディシュ	名大(医)	小 牧
12	金 松 美	韓 国	名大(文)	名 古 屋 大 須
13	王 銘 調	台 湾	名工大(物質工学)	江 南
14	シャ・カシム・フセイン	パキスタン	豊技科大(エネルギー工学)	豊 橋 北
15	林 爽 原	韓 国	名大(工)	名 古 屋 空 港
16	蔡 茂 寅	台 湾	名大(法)	名 古 屋 名 東
17	クオック・チェン・ティアン	インドネシア	豊技科大(情報)	蒲 郡
18	ハタン・アブ・ハサン・ビン	マレーシア	大同工大(土木)	名 古 屋 南
19	金 柄 伸	韓 国	名大(航空工学)	名 古 屋 東
20	金 順 姫	中 国	名工大(物質工学)	名 古 屋 東 南
21	高 承 台	韓 国	名工大(物質工学)	名 古 屋 東 南

ロータリー創立者ポール・ハリス氏の肖像写真について



東尾張分区代理 天野正英(名古屋空港R.C.)

この写真は、ポール・ハリス氏が昭和10年頃来日の折、東京の著名な写真師、五十嵐与七氏(東京R.C.会員、故人)が撮影した肖像写真で、後継者の大井康雄氏(東京R.C.会員)から名古屋空港R.C.へ寄贈されたものです。オリジナルネガは五十嵐写真店に大切に保管されており、それから作製された四切判、セピア調色のものです。多分R.I.本部にもない貴重なものと思われます。

第276地区 出席報告

1990年3月分

分 区	クラブ名	出席率	例 会 数	会 員 数			分 区	クラブ名	出席率	例 会 数	会 員 数		
				'89年 7月1日	当 月	増 減					'89年 7月1日	当 月	増 減
尾 張 第 一 分 区	知 多	100.00	4	38	40	+ 2	西 尾 張 分 区	あ ま	100.00	3	87	90	+ 3
	半 田	95.59	5	70	70	0		尾 西	96.25	4	59	60	+ 1
	半 田 南	98.11	4	55	54	- 1		一 宮	96.39	5	98	97	- 1
	東 知 多	92.76	5	51	47	- 4		一 宮 北	94.61	5	89	85	- 4
	常 滑	98.38	5	60	65	+ 5		稲 沢	100.00	3	57	61	+ 4
	東 海	97.78	3	56	61	+ 5		西 春 日 井	96.83	4	63	64	+ 1
	計	97.10		330	337	+ 7		尾 張 中 央	100.00	3	47	48	+ 1
名 古 屋 第 一 分 区	名 古 屋	93.60	4	225	253	+28	三 河 第 一 分 区	津 島	99.48	5	87	92	+ 5
	名 古 屋 南	100.00	3	122	125	+ 3		計	97.95		587	597	+10
	名 古 屋 港	100.00	5	118	121	+ 3		渥 美	94.87	3	61	65	+ 4
	名古屋瑞穂	100.00	5	84	88	+ 4		蒲 郡	97.80	5	77	80	+ 3
	名 古 屋 中	99.65	4	140	144	+ 4		奥 三 河	92.16	5	49	47	- 2
	名 古 屋 西	97.00	5	152	167	+15		新 城	91.04	5	57	58	+ 1
	名古屋大須	99.77	5	85	88	+ 3		田 原	97.43	5	78	90	+12
	名古屋東南	100.00	4	85	94	+ 9		豊 橋	99.65	5	124	124	0
名 古 屋 第 二 分 区	計	98.75		1,011	1,080	+69		豊 橋 北	98.54	4	112	114	+ 2
	名古屋千種	97.58	4	59	62	+ 3	三 河 第 二 分 区	豊 橋 南	99.68	4	83	84	+ 1
	名 古 屋 東	99.77	4	108	114	+ 6		豊 川	92.07	3	80	83	+ 3
	名 古 屋 北	100.00	5	104	112	+ 8		豊 川 宝 飯	94.64	4	52	56	+ 4
	名古屋名北	100.00	2	62	66	+ 4		豊橋ゴールデン	100.00	5	54	61	+ 7
	名古屋名東	100.00	4	72	74	+ 2		計	96.17		827	862	+35
	名古屋守山	97.78	5	94	96	+ 2		安 城	100.00	5	81	83	+ 2
	名古屋和合	100.00	3	102	104	+ 2		碧 南	99.55	3	74	75	+ 1
	計	99.30		601	628	+27		一 色	100.00	5	52	53	+ 1
東 尾 張 分 区	犬 山	100.00	4	79	83	+ 4	三 河 第 二 分 区	刈 谷	100.00	4	99	99	0
	岩 倉	98.72	4	41	41	0		西 尾	98.49	4	82	85	+ 3
	春 日 井	100.00	5	85	86	+ 1		岡 崎	100.00	3	101	102	+ 1
	小 牧	100.00	3	71	71	0		岡 崎 東	99.72	5	74	76	+ 2
	江 南	98.83	5	77	76	- 1		岡 崎 南	99.01	5	89	87	- 2
	名古屋空港	100.00	4	71	74	+ 3		高 浜	100.00	4	50	50	0
	尾 張 旭	100.00	5	55	59	+ 4		豊 田	98.68	5	94	96	+ 2
	瀬 戸	98.78	3	80	82	+ 2		豊 田 東	98.32	3	75	81	+ 6
	瀬 戸 北	96.05	4	58	59	+ 1		豊 田 西	99.44	4	95	92	- 3
	豊 山 城 北	99.31	4	72	74	+ 2		岡 崎 城 南	99.63	4	53	68	+15
	計	99.17		689	705	+16		計	99.45		1,019	1,047	+28
地区内クラブ数 63 R.C.				'89.7.1 会員数	5,064名	増 加 会 員 数	210名						
				当月末会員数	5,256名	減 少 会 員 数	18名						
				当月平均出席率	98.31%	差引純増会員数	192名						